

(別紙1)

事業報告書

事業名	大規模災害時における要支援者の避難について考える—IMP 計画研修と実地訓練 (継続事業—テーマを変えて)
申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附 (障害者分野)
目的	<p>※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。</p> <p>大規模災害時における IMP 計画 (初動対応) に基づき</p> <p>①支援者側から机上訓練</p> <p>②非支援者 (障害者) 側は実地訓練を通して生き残る術をまなぶ。</p>
事業実施の地域及び対象者	<p>※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。</p> <p>①, 高松市を中心とする本法人会員と関心を持つ自主防災の方々 30名</p> <p>②, 本会運営のグループホームみんなの広場『六条』と地域の方々 35名</p>
具体的な事業内容	<p>※実施した事業内容について、具体的に記載してください。</p> <p>①講師招聘による講演会</p> <p>講師 岩原廣彦氏 (昨年も同氏) 元香川大学客員教授</p> <p>演題 机上型 IMP 訓練</p> <p>障害者家族 (支援者側含む) の災害時の対応力向上に向けて</p> <p>日時 令和5年9月22日 (金) 午前10時~12時</p> <p>会場 高松市福岡町市社会福祉協議会東2階会議室</p> <p>参加者 33名</p> <p>出席者 障がい者本人と家族8名 自主防災組織 11名</p> <p>災害弱者安心ネット 5名 福祉事業所職員 9名</p> <p>内容 グループワーク形式で</p> <p>講師が問題を提起する。グループに持ち帰り討議を行う。</p> <p>結論を講師に示す。講師は問題が解決か否かを告げる</p> <p>全紙サイズの模造紙に解決問題・未解決問題を貼り付ける</p> <p>最後に発表して会全体で考える。</p> <p>②実地訓練</p> <p>日時 令和5年11月25日 (土) 午前9時30分~12時</p> <p>場所 高松市六条町グループホーム六条</p> <p>参加者 39名</p> <p>参加者 入居者6名 自治会17軒 GH職員 11名</p> <p>香川大学関係4名 災害弱者安心ネットワーク1名</p> <p>香川大学指導教官 高橋真理氏 (香川大学四国危機管理教育地域連携推進機構) 教官</p> <p>香川大学高松市機能別軍団3名 (田中さん・三谷さん・中村さん)</p> <p>内容</p> <p>ア、過去に何度も実施した訓練内容 (例ヘルメット・防災靴の着用 懐中電灯の携帯 自力では無理な場合は助けを呼ぶ等) 基本として、大災害に遭遇したとき、指示待ちでなく、先ず自分の命は自分で守る。何としても助かる工夫を自分で考えてみる。実践する。</p> <p>イ、訓練直前に個々人別のテーマ「災害発生時点での自分の置かれている状況を知る」を渡して、助かる方法を探り、実践する訓練。(次ページ備考欄をご参照ください)</p> <p>ウ、支援者は、当事者に寄り添い当事者自身が考えられるようにヒントを出したり励ましたりして当事者のテーマ解決に導く。</p>

	エ、地域の（自治会）協力者は助けを求められたとき、当事者から「状態を聞いて」行動をする。
事業実施の 効 果	<p>※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。</p> <p>①障害当事者や保護者にとってはどこから手を付けてよいか想像することすら出来なかった予期しない出来事との遭遇について、その初動対応が生死を分かちつことも有りうることに改めて気づくことができた。</p> <p>また支援する側にとっては、される側の意見を聞いて一緒に考える機会はなかった。一方的に良かれと決めて支援を計画していたので、グループワークは非常に有効であったとの感想が多かった。</p> <p>②実施訓練に当たっては、</p> <p>ア、入居者には災害に対する関心度も今まで以上に高まった。</p> <p>非常に高度な訓練と思われたため、打ち合わせも入念に行った。GH入居者にも当然その空気が伝わった。</p> <p>当日は支援の大学生とも打ち解けて、真剣に自分に与えられたテーマに取り組んでいた。</p> <p>イ、支援をお願いしていた地域の方（自治会）も我が事になった風に見受けられた。反省会では「今までで一番良かった」との意見がありました。</p> <p>訓練の会を重ねたことで実際 「災害にあった場合は協力して支援しなければ」と積極的に取り組んで頂けた。</p> <p>ウ、救急用の簡易テントが好評であった。</p> <p>人手も無く、テント張りの経験がない場合でも取り敢えず怪我人の居場所を想定して、物干し台のポールやブルーシートを使い工夫して張ってみた。地域の方も大いに手伝わられて素早く建てられた。</p> <p>その下ではけが人の応急処置訓練や、心臓マッサージの実演（これは入居者も希望者が続出）また、けが人の体温保持の為の毛布の巻き方まで訓練することが出来た。</p>
備 考	<p>※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。</p> <p>入居者テーマ</p> <p>1, 入浴中、心臓発作に襲われた（もともと心臓に軽い疾患を抱えた入居者）</p> <p>2, 台所でラーメンを作っていたら震度6以上の地震が来た。火災発生。</p> <p>3, 自室に世話人という時、地震で世話人が大けがをしてしまった。助けを呼びに行けるか。</p> <p>4, 水害で水が押し寄せてきた。まず何をするか。どの部屋に避難するか</p> <p>5, 大地震だ。ヘルメットや防災靴を履いて自分で玄関まで逃げられるか。</p> <p>6, 地震でびっくりして〇〇の発作が起こり動けなくなった。</p> <p>7,</p>

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年月	活動内容	対象者	参加者数
令和5年5月	●講師依頼 ①講演会 岩原廣彦氏 工学博士 香川大学創造工学部前客員教授 ②実地訓練 高橋真理氏 香川大学地域強靱化センター指導教官 協力者 香川大学高松市消防団機能別分団の学生	岩原廣彦氏 高橋真理氏	2名 2名
同月	●会場決定 ①講演会 日時 令和5年9月23日(金) 10時～12時 会場 高松市社会福祉協議会東館2階会議室 ②実地訓練 日時 令和5年11月25日(土) 9時30分～12時		
7月3日	●相談員研修の場を借りて概要説明と協力要請	相談員	11名
同 25日	●GH世話人会にて概要説明と協力要請	世話人	11名名
8月13日	●会報NO267「みんなの広場」にて会員に呼び掛け	会員・行政・自主防災等に配布	270部
9月13日	●実地訓練使用防災グッズ注文	西村ジョイ	2名
9月20日	●講師(岩原氏)最終打ち合わせ	岩原氏	3名
同 22日	●①講演会 内訳 障がい者本人と家族8名 自主防災組織 11名 災害弱者安心ネット 5名 福祉事業所職員 9名	参加者	33名
26日	●反省会	講師と事務方 防災委員	4名 5名
10月 10日	●GH防災部会打ち合わせ会(11月25日訓練に向けて)		
13日	●会報No.269「みんなの広場」に講演会報告掲載	会員・行政・自主防災等に配布	270部
同 27日	●GH世話人会にて講演会反省会と実地訓練内容の周知	世話人	11名
11月15日	●GH防災部会打ち合わせ会	防災委員	5名
同 25日	●②実地訓練 内訳 入居者6名 自治会17軒 GH職員 11名 香川大学関係4名 災害弱者安心ネットワーク1名	参加者	33名
12月8日	●反省会	世話人会	12名
12月13日	●会報No.271「みんなの広場」に実地訓練報告掲載	会員・行政・香大等に配布	270部

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★160144	
自己資金計	25,883	①+②+③+④
①参加料収入		
②会費等	25,883	
③寄附金等		
④その他		※内容を具体的に記載してください。
その他助成金等収入計		①+②+③
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他		※内容を具体的に記載してください。
その他資金収入		
合 計	186,027	

(注)その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
講師謝礼	60,000	60,000	①-1 ①-2 領収書No
香大生交通費	6,000	6,000	②
地域謝礼	4,000	0	③
防災グッズ購入費	53,423	53,423	④
参加者記念品	22,540	22,540	⑤
インク代	14,784	10,000	⑥
講演会場機器使用謝礼	2,000	2,000	⑦
水分補給用	3,749	3,749	⑧
備蓄品試食・焼きそば交流会	12,056	0	⑩-1～⑩-4
雑費	7,475	2,432	⑨-1 ⑨-2
	186,027		
合 計	186,877	★160144	

★の金額は一致するようにしてください。

(注)補助申請事業についての収支精算額を記入してください。